

田原本町第5次総合計画基本構想（案）新旧対照表

1. まちの将来像を支える3つの柱

項目	修正案（新）	パブコメ原案（旧）	修正箇所・ポイント
人が繋がり居場所 と出番と活力のあ るまち			【変更なし】
安心安全と多様な 文化価値を感じら れるまち	激甚化する自然災害や日々の暮らしに潜む危険に対し、施設の整備（ハード）と地域防災の仕組みづくり（ソフト）の両面から強靱な防災・減災対策を推進し、誰もが「当たり前の安心」を実感できる環境を整備します。 また、妊娠・出産から子育て、そして高齢期に至るまで生涯を通じた切れ目のない支援で、健やかな日常を守り抜きます。 さらに、唐古・鍵遺跡をはじめとする歴史や文化の価値をまちの誇りとして磨き上げます。そして、一人ひとりの多様な価値観を認め合える、彩りある暮らしを支えます。	激甚化する自然災害や日々の暮らしに潜む危険に対し、施設の整備（ハード）と地域防災の仕組みづくり（ソフト）の両面から強靱な防災・減災対策を推進し、誰もが「当たり前の安心」を実感できる環境を整備します。 また、妊娠・出産から子育て、高齢期に至るまでの切れ目のない支援で健やかな日常を守り抜くとともに、唐古・鍵遺跡をはじめとする多様な歴史や文化の価値をまちの誇りとして磨き上げ、彩りある暮らしを支えます。	・「高齢期に至るまで生涯を通じた」という表現に充実化。 ・一文が長かったため、「守り抜きます。」「磨き上げます。」と文を区切り、読みやすさを改善。

未来にツケを残さない持続可能なまち	人口減少という現実から目を背けず、まちの「規模の拡大」を追うのではなく、限られた資源の中で暮らしの「質」を徹底して高める「縮充」の視点でまちづくりを進めます。将来の世代へ過度な負担（ツケ）を残さないよう、公共施設やインフラの最適化やデジタル技術（DX）による効率的な行財政経営を進めます。そして、豊かな自然環境と調和した美しい田原本を次の世代へ確実に引き継ぎます。	人口減少という現実から目を背けず、まちの「規模の拡大」を追うのではなく、限られた資源の中で暮らしの「質」を徹底して高める「縮充」の視点でまちづくりを進めます。将来の世代へ過度な負担（ツケ）を残さないよう、公共施設の最適化やデジタル技術（DX）による効率的な行財政経営を進めるとともに、豊かな自然環境と調和した美しい田原本を次の世代へ確実に引き継ぎます。	・対象に「インフラ」を明記し、より実態に即した表現へ修正。 ・「進めるとともに」を文で区切り、「進めます。そして、」とすることで読みやすく整理。
-------------------	--	--	---

2. 基本目標と政策

項目	修正案（新）	パブコメ原案（旧）	修正箇所・ポイント
冒頭説明２段落目	健康・福祉、子育て・教育、防災・環境、商工業・農業、そして行財政運営の各分野において、行政と住民の皆さんが現状と課題を「自分ごと」として共有し、それぞれの強み	健康・福祉、子育て・教育、防災・環境、農業・商工業、そして行財政運営の各分野において、行政と住民の皆さんが現状と課題を「自分ごと」として共有し、それぞれの強み	・この後の項目等と矛盾しないように「農業」と「商工業」の順序を入れ替え。

	を活かした「共創」の力でまちの質を高めていくための、確かな道しるべになります。	を活かした「共創」の力でまちの質を高めていくための、確かな道しるべになります。	
基本目標 1	・ 誰もが住み慣れた地域で、自分らしく「居場所と出番」を持って、生きがいを感じながら暮らし続けられるまちを目指します。	誰もが住み慣れた地域で自分らしく、生きがいを持って暮らし続けられるまちを目指します。	・ 箇条書き（ ・ ）化。 ・ 「居場所と出番」というキーワードを追加。
	・ 健康づくりや地域医療・介護との連携により健康寿命の延伸を図るとともに、一人ひとりの暮らしを地域全体で支援します。	医療の充実や健康寿命を延ばすとともに、高齢者や障がい者の暮らしを地域全体で支援します。	・ 箇条書き（ ・ ）化。 ・ より広域な「健康づくりや地域医療・介護との連携」へ表現を変更。 ・ 支援対象を「一人ひとり」へ拡大。
	・ 多様性と人権を尊重し、住民同士が「お互いさま」の心で支えあう温かい地域のコミュニティを育むことで、すべての人が孤立することなく、安心して歳を重ねられる誰一人取り残さない福祉環境を創り上げます。	また、多様性と人権を尊重し、住民同士が「お互いさま」の心で支えあう温かい地域のコミュニティを育むことで、すべての人が孤立することなく、安心して歳を重ねられる誰一人取り残さない福祉環境を創り上げます。	・ 箇条書き（ ・ ）化。 ・ 箇条書き化に伴い、接続詞「また、」を削除。

基本目標2	・ 田原本の豊かな歴史と文化への誇りを次の世代へ継承し、未来を担う人づくりを進めます。	田原本の豊かな歴史と文化への誇りを次の世代へ継承し、未来を担う人づくりを進めます。	・ 箇条書き（・）化のみ。
	・ 妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子どもを産み育てられる環境を整えます。	妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を行い、安心して子どもを産み育てられる環境を整えます。	・ 箇条書き（・）化のみ。
	・ 学校・家庭・地域が連携して子どもたちの豊かな個性を伸ばし、未来を切り拓く力を育むとともに、誰もが生涯を通じて学び、スポーツや文化活動に親しむことができる、心豊かな「共育」のまちを実現します。	また、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの豊かな個性を伸ばし、未来を切り拓く力を育むとともに、誰もが生涯を通じて学び、スポーツや文化活動に親しむことができる、心豊かな共育のまちを実現します。	・ 箇条書き（・）化。 ・ 箇条書き化に伴い、接続詞「また、」を削除。 ・ 「共育」にカギカッコを追加。
基本目標3	・ 激甚化する自然災害に備え、防災・減災対策を強化して住民の命と暮らしを守り抜きます。	激甚化する自然災害に備え、防災・減災対策を強化して住民の命と暮らしを守り抜きます。	・ 箇条書き（・）化のみ。
	・ 誰もが快適に移動し、暮らし続けられるよう、地域に即した持続可能な生活基盤を確保し、人口	また、誰もが快適に移動できる、地域に即した持続可能な交通ネットワークを確保するとともに、豊	・ 箇条書き（・）化。 ・ 「交通ネットワーク」を「生活基盤」

	減少下においても適切に維持します。 ・ 豊かな自然環境の保全と資源の循環を進め、自然と調和した快適で安全な都市空間を次の世代に引き継ぎます。	かな自然環境の保全と資源の循環を進めます。 人口減少下においても生活基盤を適切に維持し、自然と調和した快適で安全な都市空間を次の世代に引き継ぎます。	に再統合。 ・ 移動・生活基盤の維持と、自然・都市空間の継承の２文に論理構成を整理。
基本目標４	・ 町全体で新たな価値を生み出す「かせぐ地域」の実現に向け、地域産業の活性化と新たな挑戦への支援を進めます。 ・ 農業においても持続可能な経営を支援し、これら各産業が一体となった地域経済の好循環を創り出します。	田原本の豊かな風土を支える農業を「稼ぐ農業」へと進化させ、農地の保全と持続可能な経営を支援します。また、商工業の活性化や創業支援により、地域経済の好循環を生み出します。	・ 箇条書き（・）化。 ・ 「稼ぐ農業」「商工業の活性化」等の表現から、抽象度を上げた「かせぐ地域」「地域産業の活性化」へと全体の表現を再構成。
	・ 歴史・文化資源を活かした観光振興や「田原本ブランド」の戦略的な発信により地域の価値を高め、新たな人の流れを呼び込むことで、移住・定住の促進へとつなげます。	さらに、歴史・文化資源を活かした観光振興や「田原本ブランド」の戦略的な発信を行い、地域の価値を高めることで、新たな人の流れを生み、移住・定住の促進と住まいの確保へとつなげます。	・ 箇条書き（・）化。 ・ 箇条書き化に伴い、接続詞「さらに、」を削除。 ・ 「住まいの確保」の記述を削除。
基本目標５	・ 行政と住民、民間企業などが対等な	併せて、行政と住民、民間企業などが	・ 箇条書き（・）化。

	立場で課題を共有し、公民連携のもとで共にまちづくりを進める「共創自治」を推進します。	対等な立場で課題を共有し、公民連携のもとで共にまちづくりを進める「共創」を推進します。	・【順序入替】「共創」に関する文章を旧構成の２文目から先頭へ移動。 ・「共創」を「共創自治」に変更。 ・接続詞「併せて、」を削除。
	・ 本格的な人口減少を見据え、デジタル技術（DX）を活用した行政サービスの変革や、公共施設の適正な管理・更新を進め、持続可能な行財政運営を確立します。	本格的な人口減少を見据え、デジタル技術（DX）を活用した行政サービスの変革や、公共施設の適正な管理・更新を進め、持続可能な行財政運営を確立します。	・ 箇条書き（・）化。 ・【順序入替】旧構成の１文目から２文目へ移動。
	・ 時代の変化に柔軟に対応できるよう組織力と人材の育成を図り、未来へつながる自立した行政経営の基盤を構築します。	時代の変化に柔軟に対応できるよう組織力と人材の育成を図り、未来へつながる自立した行政経営の基盤を構築します。	・ 箇条書き（・）化のみ。

３．総合計画の全体像（第５次総合計画 基本目標・政策一覧）

基本目標	修正案（新）	パブコメ原案（旧）	修正箇所・ポイント
基本目標１	政策１－１ 支えあい自分らしく暮らせ	政策１－１ 支えあい自分らしく暮らせ	語尾に「の推進」を補い、行政手段とし

	る地域づくりの推進	る地域づくり	ての平仄を統一。
	政策１－２ 健康寿命の延伸と医療体制の充実	政策１－２ 健康寿命の延伸と医療体制の充実	【変更なし】
	政策１－３ 誰もが安心して生活できる環境の充実	政策１－３ 誰もが安心して生活できる地域づくり	政策 1-1 の「地域づくり」との重複を回避し、ハード・ソフトの福祉環境整備という実態に合わせ適正化。
	政策１－４ 共生社会の推進	政策１－４ 共生社会の推進	【変更なし】
基本目標 2	政策２－１ 子ども・子育ての希望が叶うまちづくりの推進	政策２－１ 子ども・子育ての希望が叶うまちづくり	語尾に「の推進」を補い、平仄を統一。
	政策２－２ 豊かな個性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む教育の充実	政策２－２ 豊かな個性を伸ばし、未来を切り拓く力を育む教育の充実	【変更なし】
	政策２－３ 地域の学びを支える環境の整備	政策２－３ 地域の学びを支える環境の整備	【変更なし】
基本目標 3	政策３－１ 災害に強く安全に暮らせる生活環境の充実	政策３－１ 災害に強く安全に暮らせるまちづくり	連続する「まちづくり」を脱却し、防災・交通安全等を束ねる名称へ具体化。

	政策３－２ 快適に住み続けられる都市・交通基盤の維持	政策３－２ 快適に住み続けられるまちづくり	インフラと交通網の確保にフォーカス。「充実」ではなく「維持」とし、人口減少下での「縮充」の姿勢を明示。
	政策３－３ 環境に優しいまちづくりの推進	政策３－３ 環境に優しいまちづくり	語尾に「の推進」を補い、平仄を統一。
基本目標４	政策４－１ 商工業の活性化	政策４－１ 持続可能な農業支援	【旧４-２と順序入替・名称変更】「稼ぐ地域」の柱として旧４-２を先頭に配置。「創業支援」という局所的な手段を削り抽象度を統一。
	政策４－２ 持続可能な農業の推進	政策４－２ 地域産業の活性化と創業支援	【旧４-１と順序入替・名称変更】旧４-１を配置。福祉的なニュアンスのある「支援」を外し、産業として前へ進める「推進」に置き換え。
	政策４－３ 地域の魅力の向上と発信	政策４－３ 地域の魅力の向上	観光や広報、オープンデータ等の事務事業の実態を包括できるよう「発信」を追加。
基本目標５	政策５－１ 住民参	政策５－１ 住民参	【変更なし】

	画と公民連携による 共創の推進	画と公民連携による 共創の推進	
	政策５－２ 行財政 改革の推進	政策５－２ 行財政 改革の推進	【変更なし】